

アジア地方行政セミナー 2023.3.17

新型コロナウイルス禍における地域活性化

小田原市 企画部
未来創造・若者課
長崎真治

小田原市の紹介①

人口 187,510人(2022.4.1現在)

面積 113.60km²

交通 東京から約80km(東京駅から新幹線で35分)

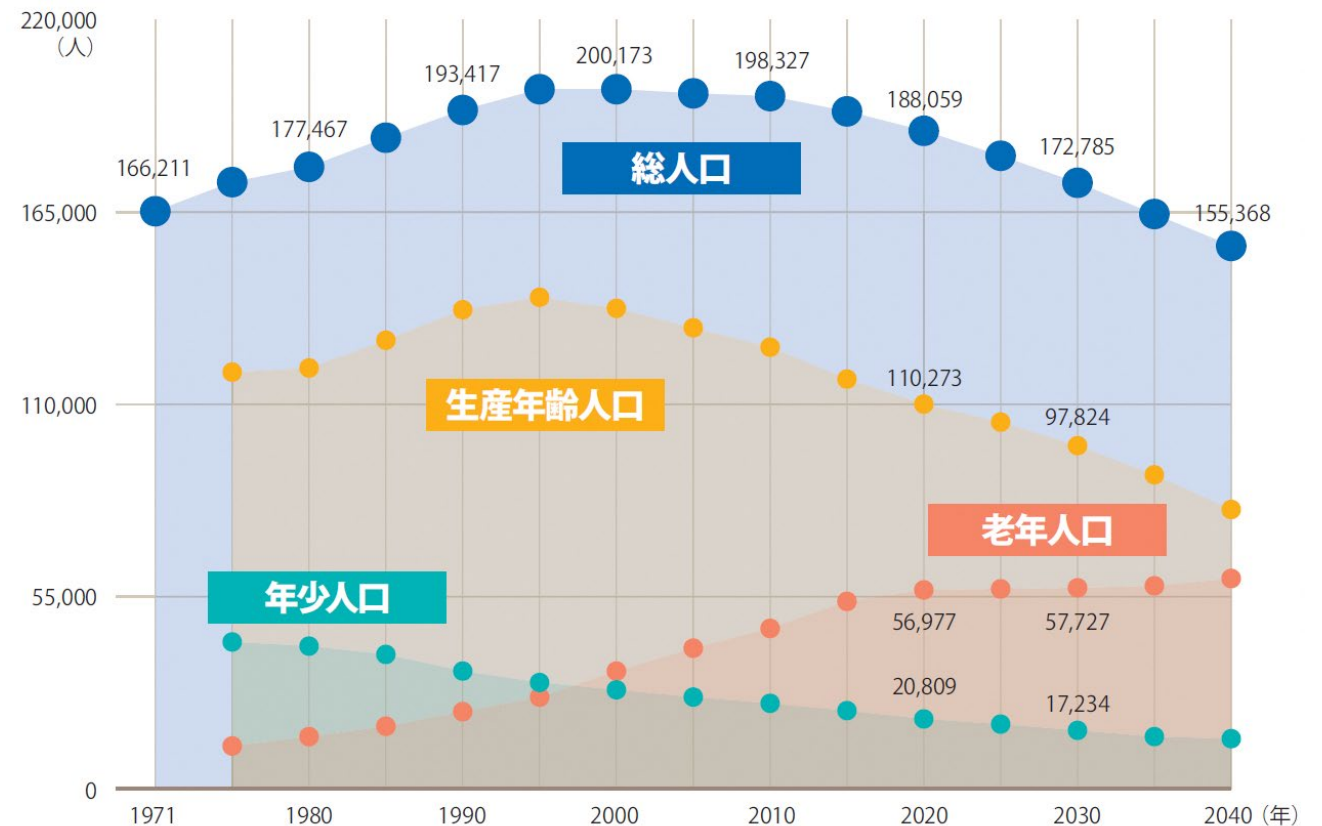


小田原市の紹介②



社会情勢の変化と小田原市の課題

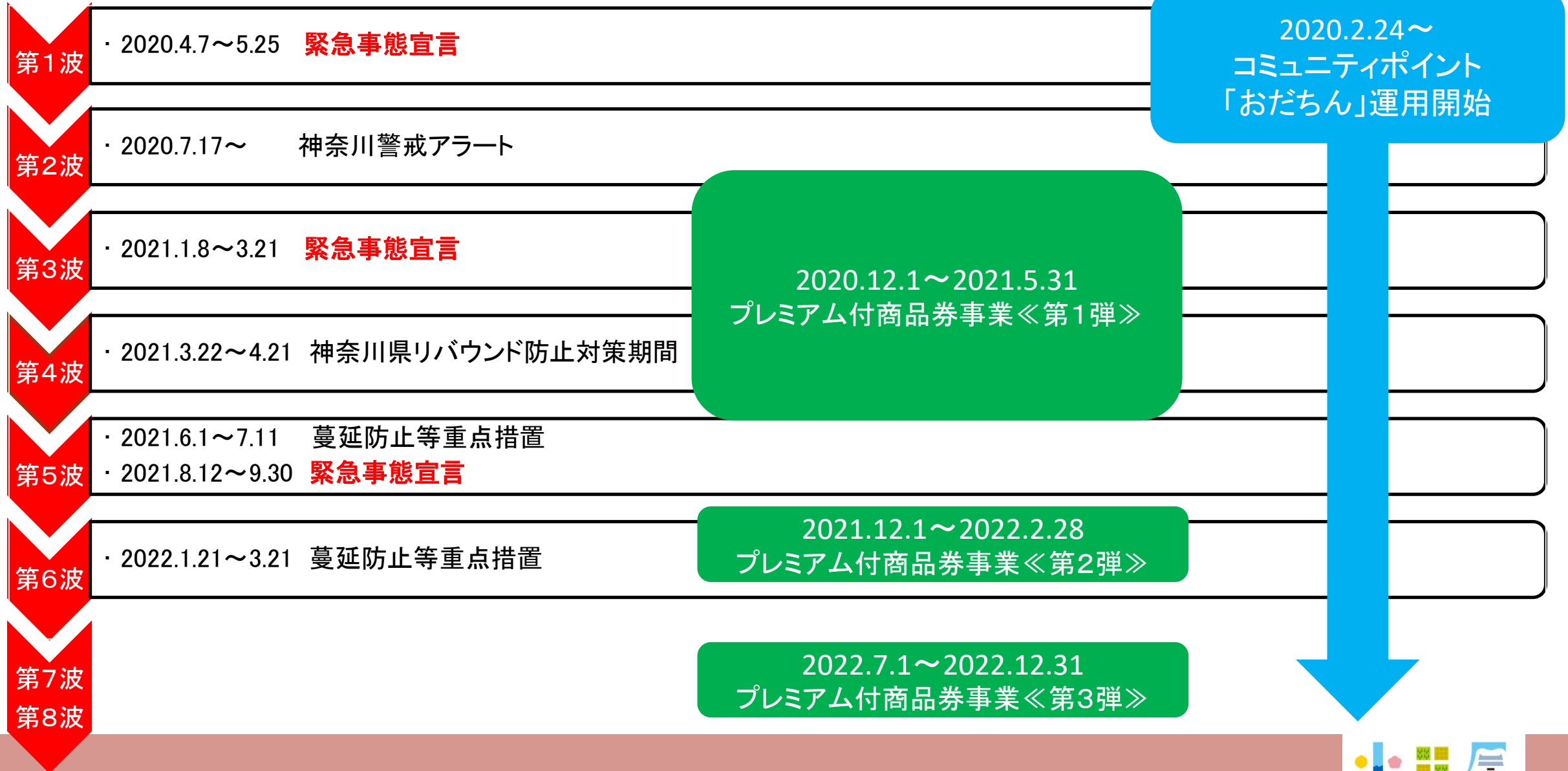
- 全国的な人口減少と高齢化社会を背景に、行政運営を取り巻く環境は厳しい状況
- 本市の人口は、1999年の200,692人をピークに減少傾向にあり、国立社会保障人口問題研究所による2030年推計人口は17.3万人
- 市民サービスの維持向上等に向け、雇用を創出し人を呼び込むなど人口増に取り組み、税収増やにぎわい創出につなげる好循環を生み出すことが必要
- 2020年1月、日本国内初の新型コロナウイルス感染者が見つかり、以降、感染者は急増。経済情勢は悪化へ……



本市の人口推計

【2019年までは市統計月報、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成30年推計)】

コロナ禍における地域活性化対策



プレミアム付商品券事業①

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上の低迷が続いた市内の商業者と市民の生活を支援するため、プレミアム付商品券を発行して消費を喚起し、地域経済の回復を図ることを目的に実施した。(財源:新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

《第1弾》

- 使用期間 2020.12.1～2021.5.31
- プレミアム率 30%(1冊13,000円分を10,000円で販売)
- 発行総額 663,000千円
- 購入限度額 額面39,000円分(1人につき3冊)まで
- 執行方法



購入予約開始のお知らせ

おだわら梅丸商品券

販売数量限定 総額6万1千円

令和2年 10月31日

新型コロナウイルス感染症の影響により売上の低迷が続く市内の商業者と市民の生活を支援するため、プレミアム付商品券を販売します。

1冊¥13,000分を¥10,000で販売します!

共通券 1,000円券 ×10枚 + 共通券 500円券 ×2枚 + 地元商店専用券 500円券 ×4枚

お一人様 3冊まで

全ての券が飲食店でも使えます

必ず代がからないWEBからのお申込みがおすすめです。

WEBからの応募 小田原市商店街連合会公式ホームページの特設サイトから 予約専用サイトへGO! <http://www.0465.net/odawara-umemaru/>

販売店一覧

1 廣町 郵便局	9 旗田駅前 郵便局	17 小田原駅前 郵便局
2 神宮 郵便局	10 御山駅前 郵便局	18 小田原本町 郵便局
3 下黄崎 郵便局	11 小田原駅前南 郵便局	19 小田原新橋 郵便局
4 町宮駅前 郵便局	12 小田原南南町 郵便局	20 御幸川 郵便局
5 小田原南町 郵便局	13 小田原南町 郵便局	21 小田原久野 郵便局
6 小田原清水 郵便局	14 小田原南町 郵便局	22 小田原南町 郵便局
7 下中 郵便局	15 小田原南町 郵便局	23 小田原山崎 郵便局
8 小田原成田 郵便局	16 小田原南町 郵便局	24 小田原 郵便局
		25 小田原南町 郵便局

お申込期間 令和2年11月24日～12月30日(全営業)

ハガキで応募の方は裏面をご覧ください

小田原市商店街連合会へ補助金を支出。同連合会では商品券取扱店舗の募集・取りまとめ、商品券の発行(印刷・販売)、販売促進(事業周知など)を実施。

POINT!!

- 1冊13,000円分のうち、2,000円分を地元専用券とし、大型店などではなく、地元商店でより多くの消費がされる仕組みとした。

プレミアム付商品券事業②

《第2弾・第3弾》

- 使用期間 2021.12.1～2022.2.28(第2弾)
2022.7.1～2022.12.31(第3弾)
- プレミアム率 紙商品券 25%(1冊12,500円分を10,000円で販売)
デジタル商品券 30%(1口13,000円分を10,000円で販売)
- 発行総額 760,000千円(第2弾) 765,000千円(第3弾)
- 購入限度額 紙商品券 額面37,500円分(1人につき3冊)まで
デジタル商品券 額面39,000円分(1人につき3口)まで
- 執行方法 第1弾と同様。

POINT!!

- 第1弾と同様、商品券の一部を地元専用券とし、大型店などではなく、地元商店でより多くの消費がされる仕組みとした。
- デジタル化によるまちづくりを進めるうえで、電子決済(キャッシュレス決済)の普及を図るひとつのきっかけとすべく、デジタル商品券を発行した。

第2弾おだわら梅丸商品券
デジタル:20,000口/紙:40,000冊

第3弾おだわら梅丸商品券
デジタル:30,000口/紙:30,000冊

令和3年10月～令和4年2月28日 (第2弾)
令和4年5月9日～5月31日 (第3弾)

紙の商品券は1冊で¥2,500お得
お一人様3冊まで (1冊10,000円)

紙の商品券は1冊で¥2,500お得
お一人様3冊まで (1冊10,000円)

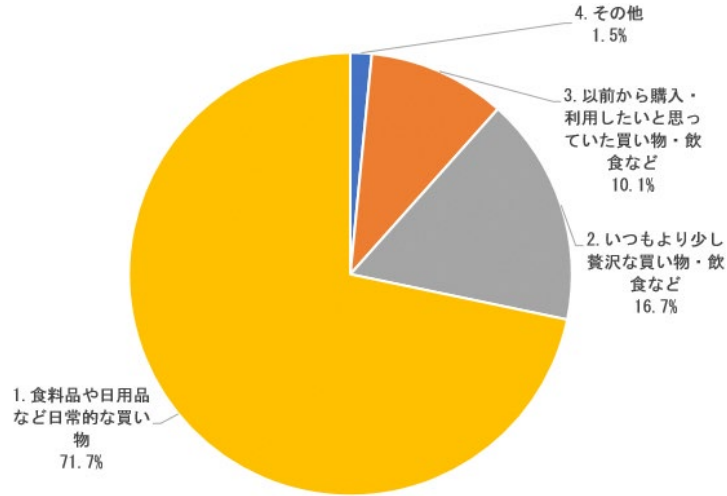
はがきでの応募方法

STEP.1 専用はがきで応募
STEP.2 専用はがきで応募
STEP.3 専用はがきで応募

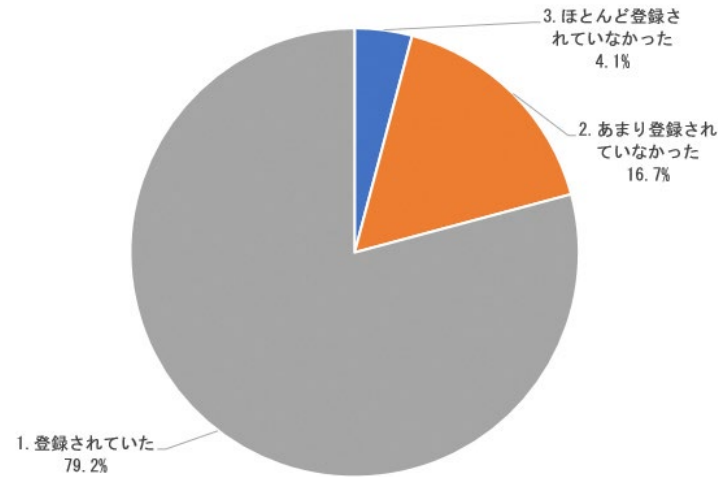
令和4年5月31日までの有効期間

利用者向けアンケート結果

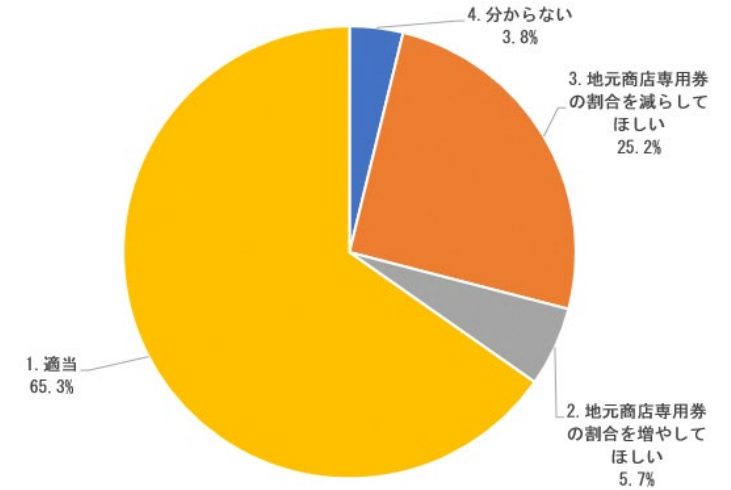
Q.どのような買い物に利用したか？



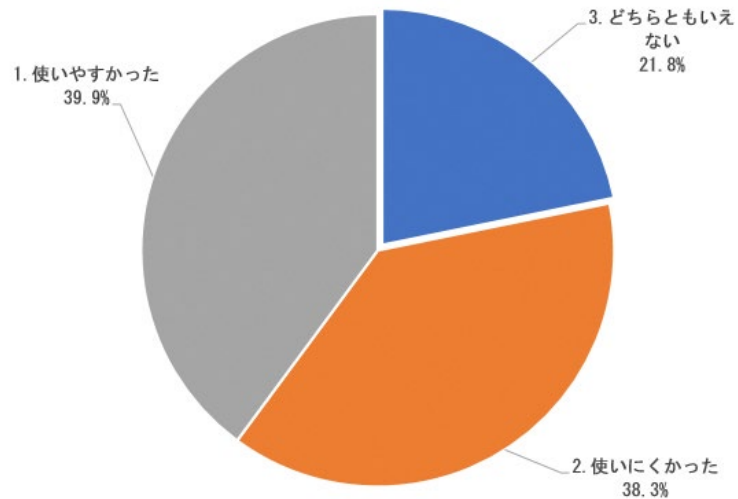
Q.使いたいお店は取扱店の対象だったか？



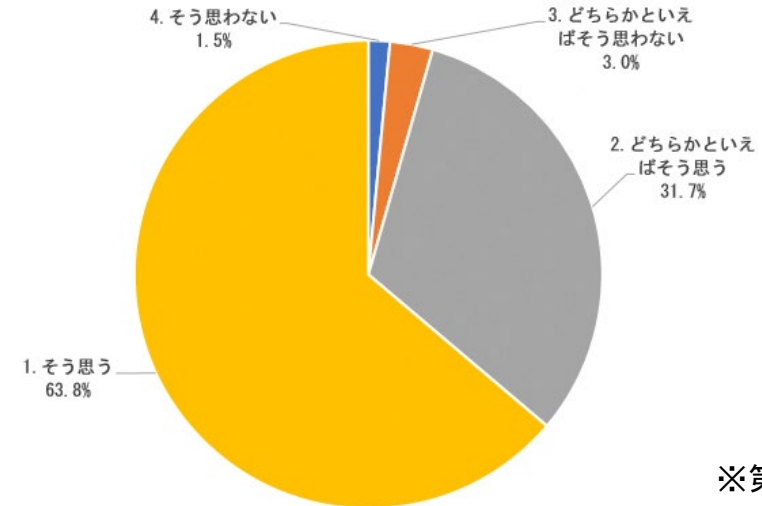
Q.地元商品券の割合はどうだったか？



Q.デジタル商品券の使いやすさは？



Q.本事業は家計の応援に繋がったか？

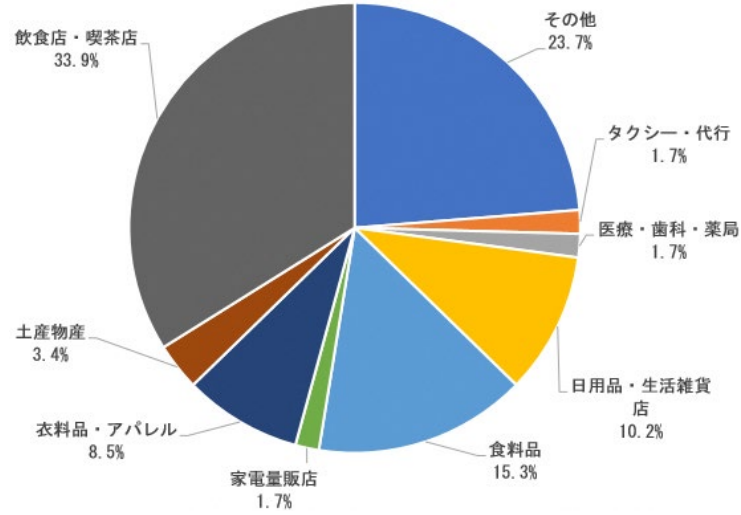


※第2弾実施時のアンケート

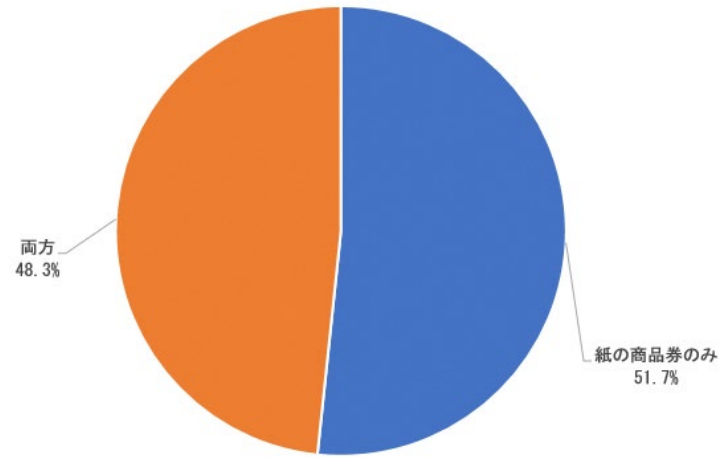


取扱店アンケート結果

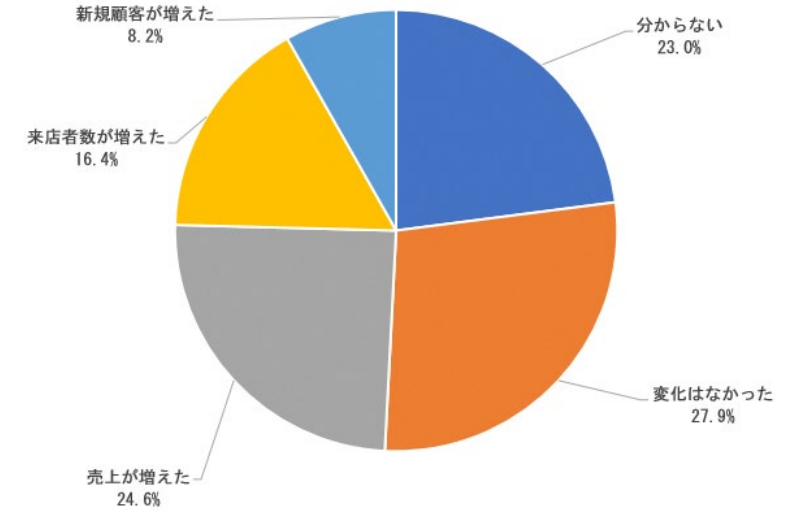
Q.業種はなにか？



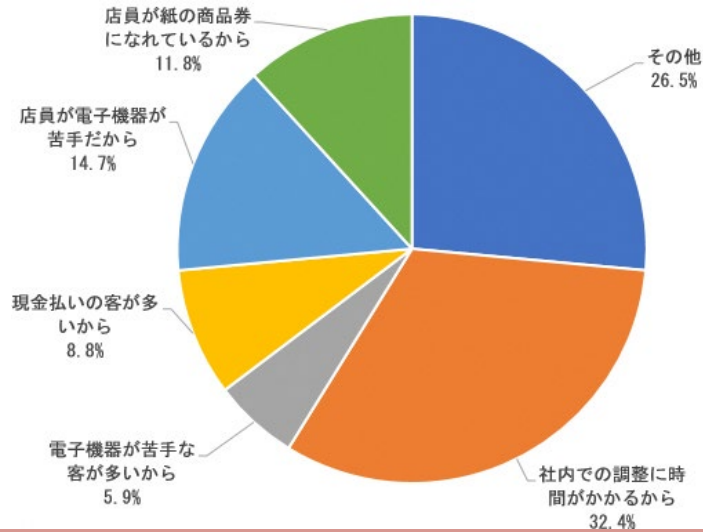
Q.取り扱った商品券は？



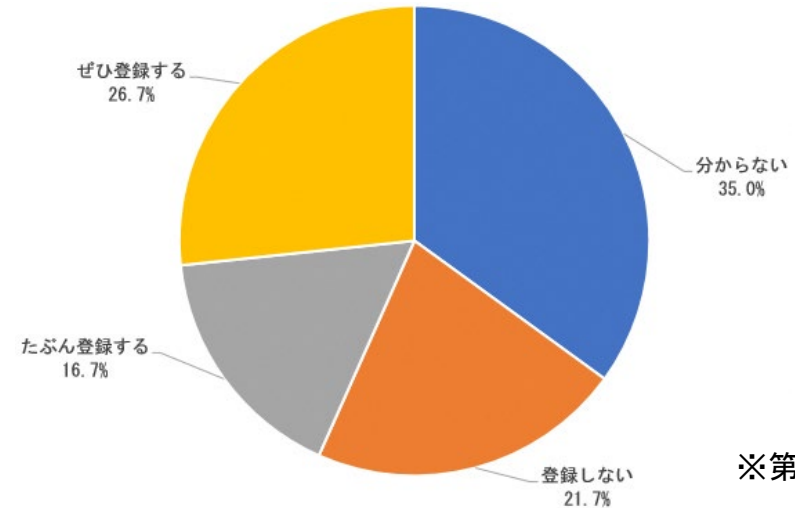
Q.本事業の効果はあっか？



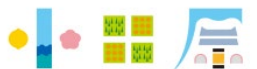
Q.デジタル商品券を取り扱わなかった理由は？



Q.今後、デジタル商品券を販売した場合、取り扱うか？



※第2弾実施時のアンケート



プレミアム付商品券事業を実施して

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、市内経済が大きく低迷する中、市民の消費需要を大胆に喚起するには、過去にないプレミアム率にすべきとの観点から、本市としては**過去最大となる30%のプレミアム率を設定**し、地元の商店街など商業者の支援に繋げるよう、**商品券の一部を地元商店専用券**とするとともに、デジタル化によるまちづくりを推進するため、電子決済(キャッシュレス決済)の普及を図る一つのきっかけとすべく、**デジタル商品券を発行**した。
- また、商品券の購入にあたっては、事前申込制や購入場所を指定し、分散させることにより「密」を回避し、非接触型の決済方法であるデジタル商品券を発行するなど、**感染防止に最大限配慮**した。
- デジタル商品券の取扱店が取扱店舗全体の半数に留まるなど、**キャッシュレス化に向けた課題**が垣間見えた一方、コロナ禍における外出自粛に伴う個人消費の落ち込みがあった中、**発行総額21億8,800万円**(うちプレミアム分4億7,800万円。第3弾含む。)という規模からも、**市内商業者及び市民生活の支援に大きく寄与し、地域活性化に繋がったもの**と考える。



小田原市

持続可能な地域社会の実現



- 小田原市の持続可能な地域社会の実現に向けた、人の力に着目してより一層推進していく取組が国から評価され、2019年7月に、国の「SDGs未来都市」、「自治体SDGsモデル事業」に選定された。
- 小田原市では、身の回りの課題解決に取り組む現場での「学び」と「交流」とおして、様々な課題の解決に向かうとともに、人と人のつながりによって、これまでの取組を加速・進化させることにより、環境・経済・社会といったSDGsが目指す三側面の総合的向上を図っていく。



Think MIRAI

小田原から未来を考える

小田原市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「おだちゃん」とは??①

小田原のコミュニティポイント（おだちゃん）とは

本市がすすめる「おだちゃん」とは、SDGsに関連した取組を行う場合に、お金で払うほどではないお礼ができるコミュニティポイントの名称。スマートフォンのアプリケーションを使って、スポットと呼ばれる店舗などと利用者の間でポイントをやり取りすることができる。



ポイントの単位は「おだちゃん」

お金を払うほどではない
「お礼」として利用できる

通帳と言われる活動履歴は公開され、
個々の活動のつながりが見える

おだわらSDGs体感事業

この事業は神奈川県「つながりポイント事業」と連携し、SDGsを知らない人、難しいと感じる人も、「すでにその取組を行っている」ということを感じ取ってもらうことを目的に、人と人をつなげるためのコミュニティポイントのやり取りを活発にすることにより、本市でのSDGsの取組を進めていく。また、SDGsの推進や地域活性化など、それぞれのコンセプトで、全国22か所で導入され、運用されている。

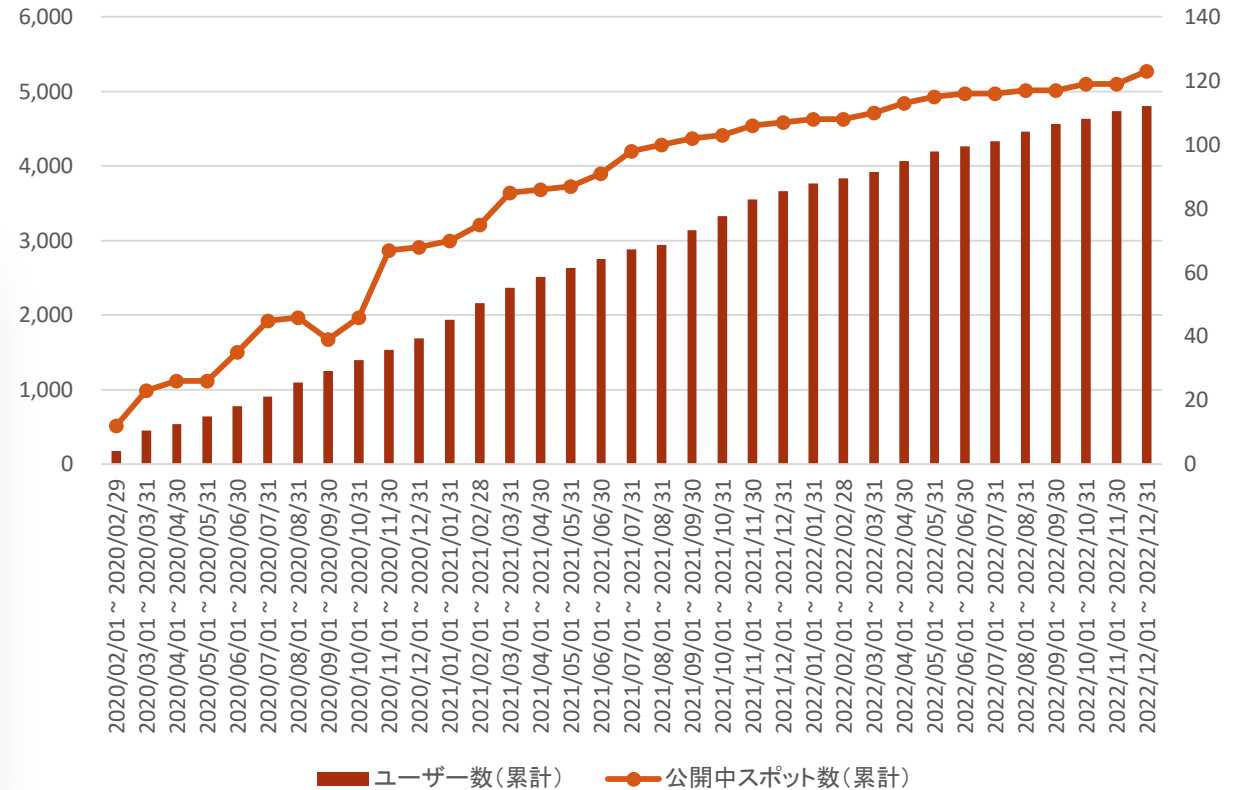
利用者は
ゲーム感覚で
楽しめる

ポイントを貯めると
レベルが上がる

「おだちゃん」とは??②

「おだちゃん」に参加するスポットや利用者の状況

2020年2月からプレスタートした本事業は、2023年1月現在でスポットと呼ばれる店舗等の参加が120か所以上、参加利用者数も4,800人を超えている。本事業の内容については各種メディア、ホームページなどでの周知以上に、SNS利用者を中心とした情報の広まりが強く、内容に賛同した方々からの登録依頼が相次いでいる。



「おだちん」のもらい方

おだちんでの体験を通して、SDGsを実行することができる。体験チケットでSDGsがいかに自分の生活と密接しているのかも理解することができ、SDGsを「自分ごと化」するためのきっかけに繋がる。

《もらい方》

田んぼの草取り体験して おだちんをもらおう！！

農薬化学肥料不使用の田んぼで、
草取りのお手伝いでおだちん。



袋はいらないよ♪

お買い物の際に、マイバックを
持参していただいた方におだちん。



ビーチクリーンアップ 活動&ひものBBQ

海岸のゴミ集めを行い、活動後に
参加者でひものバーベキューを
行うイベント。



志村屋米穀店

田んぼの草取り体験して おだちんをもらおう！！

+500

7/29 5時 ~ 9/10 19時



もらう



Denimman / デニムマン

袋はいらないよ♪

+100



もらう



ケントスコービー

第3回 袖ヶ浜ビーチクリーンアップ
活動&ひものBBQ

08/16 10時 ~ 08/16 12時

+800



もらう

「おだちん」の使い方

おだちんは法定通貨で価値化、表現できるものは取り扱わない。まちや人にちょっといいことをしたり、誰かと仲良くなるなど、お店でものを売る・買うだけではできない体験をすることができる。

《使い方》



イカのゲソでげそ

商品加工をする際に出てしまうイカのゲソをおだちんでもらえる。



限定6件 残り3件

早瀬のひもの
イカのゲソでげそ

🟡 -500
🌍 あげる

ご家庭用包丁お研ぎします

いつも使っている包丁をプロに
砥いていただける体験。



1日限定1件 残り1件

かしわ水産

ご家庭用包丁お研ぎします🙏

🟡 -500
🌍 SDGs > あげる

あなたのお好みのオリジナルカクテルをつくります！

好みを聞き目の前のお客さんに
合うオリジナルカクテルを作る体験。



バー ジャルダン

あなたのお好みのオリジナルカクテルをつくります！

🟡 -300
🌍 SDGs > あげる



「うれしい体験」を通じて

つながりが生まれる

お店の顔なじみや常連さんになったり、地域のことを知ったり、イベントに参加するなど、人やまちとつながりが生まれる体験。



だれかの役に立つ

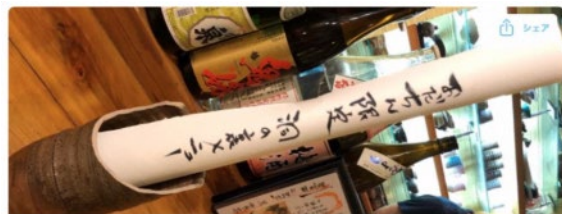
ちょっとしたお手伝いごことから、ごみ拾い、エコバッグ持参などの環境によいことまで。だれかの役に立つ体験。



利用者にとってのおだちん

1. お金で買えない体験

法定通貨で価値化、表現できるものは取り扱わない。



彩酒亭 洞(ホウ)
洞の【梅酒の裏メニュー】見えるチケット

-100
SDGs > あげる

まちや人にちょっといいことをしたり誰かと仲良くなるなど
お店でものを売る、買うだけではできない体験をすることができる。

2. ちょっとおトク、スペシャルな要素

フードロスに「コインをつかう」



3. ゲームのように楽しむ

参加するほどレベルがあがる



チャレンジやスタンプの機能



ラッキーコインでボーナスも



スポット(飲食店やイベント等)にとってのおだちん①

1.常連さんやファンを増やす

地域の飲食店がお客様と会話をするためのきっかけになるような体験や、イベントに興味を持ってもらう機会づくりをすることができる。

2.環境によいこと、地球によいことに貢献

ごみの削減やフードロスの削減、清掃活動など、地域の環境をよくすることで、結果的に地球に良いことをお店として取り組む機会をつくる。



規格外野菜の販売と商品化



スポット(飲食店やイベント等)にとってのおだちん②

3.ちょっとしたお手伝いごとのお礼



Siblings
窓をキレイにしてくれませんか?

+600
もらう



ONE PARK
不要な本を譲ってください。

+100
もらう

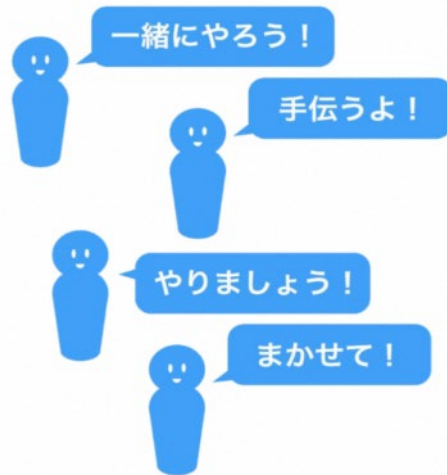
仕事としてお願いするほどではない、ボランティアでお願いするには気がひけるようなちょっとしたお手伝いごとのお礼に！

お手伝い =
「仕事」と「ボランティア」の間

地域のお手伝いを通じて、人とまちがつながり、様々な立場の人の参加と関わりを促すことが可能に！！



手伝って欲しい
相談にのって欲しい
教えて欲しい
一緒に考えて欲しい
紹介して欲しい
試してみたい
みんなに伝えて欲しい



地域のお手伝いごと



地域や自治体にとってのおだちん①

1. 経済効果

お店やイベントで使うことがメイン



来店して使うので法定通貨の消費行動も促し、経済効果を促す！！

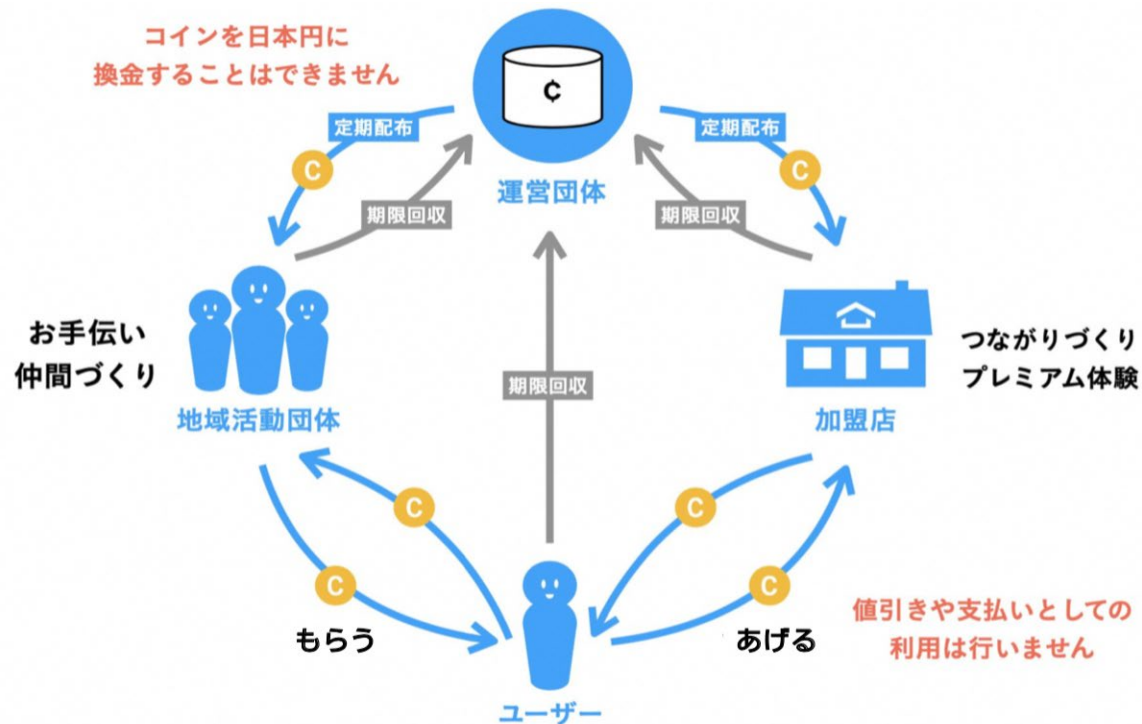


基本的にお店やプロジェクトの拠点となっている「スポット」で体験をするシステムのため、お店へ足を運ぶきっかけづくりに！

地域や自治体にとってのおだちん②

2.持続可能な仕組み

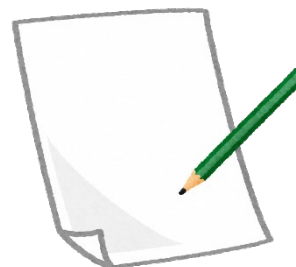
コインが循環し続ける仕組み



- 原資が必要なく、一定期間使わないと回収される(コインには最大180日の有効期限が定められている)。
- 期限設定により、コイン消費促進にもつながる。

運営コストが安価

管理不要



アプリ管理



今までの地域通貨は紙で発行したり、記帳が必要だったり、運営の負荷が大きかった。IT時代、スマホ時代の電子通貨なので運営のコストが安価。



コインのやりとり

まちのコイン画面を読み込むと
コインのやりとりが可能

地域や自治体にとってのおだちゃん③

3.まち固有の課題解決につながる

地域、エリアごとにテーマをつくることで、住民がまちの課題に取り組みやすくなったり、結果的にまちの個性を伸ばすことができる。これを「おだちゃん」では、SDGsと紐付けて設計している。つまり、まちごとにSDGsの目標の何番を伸ばすか設計することができる。

SDGsをチケットで知る



SDGsを自分ゴト化



地域のSDGsの可視化



神奈川県小田原市



ひとつひとつの行動とSDGsの関係を可視化。

最後に

- 世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスが、市民の命や健康、社会経済活動に深刻な影響を及ぼし続ける中、小田原市においては、「生活を守る、事業者を守る、教育を守る、地域医療を守る」の4本の柱に基づき、コロナ対策に係る各種取組を実施している。
- 国の特別定額給付金や子育て世帯給付金などの生活支援、持続化給付金などの事業者支援と連動しながら、市民、市内商業者の暮らしを守る取組として、プレミアム付商品券など、市民生活に直結する取組を進めるとともに、「人と人」、「地域と人」、「地域を良くしたい想い」を繋ぐコミュニティポイント「おだちん」の取組で、SDGsの普及を進めながら、副次的な経済効果も合わせて、地域活性化を進めている。
- 多様化する社会的課題に加え、新型コロナウイルス感染症により、これまでに遭遇したことのない局面を迎えているが、この難しい局面においても、コロナ禍というピンチをチャンスに変え、小田原市は次世代に責任を持てる持続可能なまちを目指していく。



ご清聴ありがとうございました

「世界が憧れるまち“小田原”」

2030ロードマップ1.0

